

日本弁理士会主催【第10回知的財産活用表彰】受賞者一覧

表彰式：2024(令和6)年2月1日

賞名称	部門等	受賞企業・団体名	所在地	評価のポイント
知的財産活用大賞		株式会社オケイオス	福岡県福岡市	ブロックチェーンを用いて情報真正性を担保する技術について、分割出願を活用して漏れのない権利取得を目指すとともに、競合企業の特許及び製品に対する確認や対処も行われている点等、総合的に知財活用のための取り組みが積極的に行われていることを評価した。また、営業秘密管理、標準化推進等の活動も適切に実施されており、これら知的財産戦略の実践に際し顧問弁理士との連携体制が構築されていることから、今後益々の知財活用も期待される。
知的財産活用奨励賞	ブランド部門	株式会社 KAWACHO RICE	青森県三沢市	商標権の取得により積極的なプロモーション活動を行いブランド力の向上に役立てている。また、グッドデザイン賞の取得により商品価値を高めている。更に実店舗でのブランド力強化により地域の雇用促進、活性化、振興に寄与している点、およびメディアの活用による認知度の向上、ブランド力の強化がなされている点が評価できる。
	デザイン部門	フェリック株式会社	東京都中央区	局所温熱を利用した新商品について大学や他企業と共同研究、開発を行い、成果を知財で保護するという創立以来の方針が認められる。今般の耳たぶを温める新感覚の温灸器の開発にあたり、独自性のあるデザインを創作し、意匠権を取得して製造販売戦略に活用し、併せてマスコミやSNSを通じたブランド及びデザイン戦略も積極的に行ったことが評価できる。
	知的財産戦略部門	三和テクノ株式会社	兵庫県神戸市	知的財産権について、取得はもちろんのこと、権利行使を含めて戦略的に活用できている。取り扱う製品について特徴をよく把握した上で適切な権利保護方法が検討されており、特許技術についてグラフを用いて可視化することで顧客に対して製品の特性を明確に示すことができる環境を整えている点を特に評価した。